



< 目次 >

1. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い
2. 今後の会議・報告会の予定
3. 石巻・現地情報
4. 石巻・現地支援活動報告
5. 事務所ボランティア感想文

< 1. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い >

10 月以降も被災地への災害ソーシャルワーク活動を継続します。
仮設住宅支援を中心に週末現地で活動できるボランティアを多く
募集いたします。金土日で参加できる方、ぜひご検討ください。

10 月

日付	事務所	現地	日付	事務所	現地	日付	事務所	現地
1 [Sat]	3	5	11 [Tue]	3	4	21 [Fri]	3	5
2 [Sun]	休	5	12 [Wed]	3	2	22 [Sat]	3	5
3 [Mon]	3	5	13 [Thu]	3	2	23 [Sun]	休	5
4 [Tue]	3	4	14 [Fri]	3	3	24 [Mon]	3	5
5 [Wed]	3	4	15 [Sat]	3	5	25 [Tue]	3	4
6 [Thu]	3	4	16 [Sun]	休	5	26 [Wed]	3	4
7 [Fri]	3	5	17 [Mon]	3	5	27 [Thu]	3	4
8 [Sat]	3	5	18 [Tue]	3	4	28 [Fri]	3	5
9 [Sun]	休	5	19 [Wed]	3	4	29 [Sat]	3	4
10 [Mon]	2	5	20 [Thu]	3	4	30 [Sun]	休	4
						31 [Mon]	3	4

* 数字は必要な人数・ 〇 は足りていることを表す

(9 月 27 日現在)

支援活動協力員登録人数(9月27日(火) 現在)

- ・ 現地支援活動協力員 : 170名
- ・ 事務所支援活動協力員 : 91名

皆様お忙しい中のご参加で人員が不足しております。ご協力頂ける方は下記までご連絡下さい。

[災害対策本部\(03-3351-5038 又は dsstsw@jaswhs.or.jp\)](mailto:dsstsw@jaswhs.or.jp) 平日・土・祝 10~17時

メールでのご連絡の際は、件名に「(現地)または(事務所)災害支援活動協力員希望」とご記載下さい。
当会ホームページに[現地ボランティア応募フォーマット](#)が掲載されています。

現地支援活動について

宮城県石巻市の「医療法人鉄祐会 祐ホームクリニック」が活動拠点となります。

平日1日4~5名体制 週末(金曜日~月曜日) 1日5名体制を予定しています。

- ・ 引き継ぎ等の関係により、前後の移動日を含めず、中 3 日以上活動をお願いしたいと思います。
- 毎週金曜日に災害対策本部副部長が現地入りし、統括をしていく予定です。

事務所支援活動について

活動日程 : 月~土、祝日 の 10時~17時 半日での参加も可能です

活動内容 : 主に現地支援活動協力員の派遣調整、現地とのやりとり、電話・メール対応、事務処理
1日4名を目標にご参加頂いております。

財政的に厳しい状況が続いているため、事務所協力員は交通費 1200 円上限とさせていただきます。

寄付金の振込口座:郵便振込口座

資金が底をつきつつあります。皆様の更なる協力をお願い申し上げます。

口座名義 : 日本MSW協会災害支援金

口座番号 : 00100 - 1 - 89515

支店名 : 〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)

口座種別 : 当座

他の金融機関からお振り込みいただく場合には下記のようにお願いします。

ゆうちょ銀行 口座種別 : 当座預金 支店 : 〇一九(読み方:ゼロいちきょう)店

口座番号 : 89515

備考 : お振り込みいただく金額に制限はございません。

ご自分のお名前とご連絡先をご記入ください。

お振込手数料は、各自でご負担ください。

* 寄付の用途については、当協会の行う東日本大震災災害救援活動に使うことが決定しています。

活動内容の掲載について

石巻以外の地域で活動している方や被災者を受け入れている機関などの活動を本紙に掲載したいと思います。ご協力いただける方は[災害対策本部](#)までご連絡ください。

< 2 . 今後の災害支援対策会議・報告会の予定 >

次回の会議・報告会の日程は検討中です。
決り次第お知らせします。

< 3 . 石巻・現地情報 >

石巻での活動内容 10月以降は内容が変わります

- ・ 遊楽館利用者への相談支援
- ・ 遊楽館から退所した人へのフォローアップ
- ・ 地域の保健医療福祉機関のニーズ把握と対応
- ・ 福祉関係職種との連携と協働(カンファレンス)
- ・ 退所サマリー、経過サマリー作成業務
- ・ 仮設入居時同行、引っ越し同行
- ・ 仮設住宅での支援活動
- ・ 在宅医療を担う医療機関との連携

宿泊場所

5月23日より、2LDKのマンションを宿泊場所として使用しています。

* JR 東北新幹線 陸羽東線 古川駅より徒歩約9分

* 布団はありますが、シーツ・枕カバー、タオルなどはご持参下さい。

現地移動車両

ガリバーインターナショナル社様のご厚意により、当会へ自動車を1台貸与していただいています(保険や車検関係はガリバー社が負担してくださっています)。

現地ボランティアの皆様の足としてご利用いただけます。

詳細とお願いは、次の通りです。

- ・ 車種 トヨタ「イスト」 ナンバー「野田 501ち 3967」 銀色
- ・ 利用される場合には、安全運転はもちろんですが、車の調子の確認、ガソリンの補給(給油したら協会に請求してください)、および鍵の管理をお願いします。
- ・ 駐車違反・盗難等に注意してください。

携帯電話

ソフトバンク様より、当協会へ20台の災害用電話の無料貸し出しをしていただいています。7月1日より、現地および、協会本部はソフトバンクの携帯電話を利用しています。

< 4 . 石巻・現地支援活動報告 >

伊藤 正一（大久野病院）

期間:9月9日～9月12日

1 . 感想

5月9日～12日に最初のボランティアとして被災地に入って以来、約4ヶ月ぶりに再び遊楽館に入りました。9日の朝、遊楽館に入って最初に感じたことは「避難されている方が減った」ということでした。5月の時点では80名強の方が避難されており、当時避難されている方々の被災状況や社会背景などのアセスメントを行ないましたが、何人かの方はその方向性の決定に困難があるだろうと予想しました。しかし、9日現在26名までに減っており、且つ今月末までに殆どの方の方向性の目処がついていることは、PCATや石巻市立病院のスタッフとも話しましたが、ボランティアとして全国各地から集まった多くのSWの活動・活躍と遊楽館内でのチームアプローチの成長の結果だと感じ、同時にSWの役割を示すことができたことはとても誇らしく思いました。避難所が9月末に閉鎖した後も、当協会はSWの役割を示すべく活動を継続していくべきだと思いました。

2 . 今後参加される方への情報・アドバイス

現地への移動(実際にとった手段、ルート、出発・到着時刻等)

9月8日(木)午後2:00に自家用車で職場を出発。圏央道・青梅ICより高速に入り、関越道 外環自動車道 東北道を経由して仙台宮城ICを降りて、仙台市内のビジネスホテルへ午後7:00過ぎに到着。9日朝6:00にホテルを出発。仙台東部道路・仙台港北ICより高速道路に入り、矢本ICで降り、下道で遊楽館へ。午前7:45頃到着する。

現地での移動(実際にとった手段)

遊楽館に留めてあるトヨタ・イストを利用しました。

古川のアパートと遊楽館の移動に利用しました。

事前に得ておくとい知識

宮城県・石巻市の産業や風土、また被災状況など。また地名も含めて場所の理解があると避難者とのコミュニケーションが図りやすい。

現地へ持参する必需品・不要だった物

石巻市のポケット地図があると便利でした。また非常食を含めて食品類は一応持参しましたが必要ありませんでした。

3 . 参加を検討されている方へのメッセージ

一度でも現地を訪れたいと思っている方は、必ず行くべきだと思います。

< 5 . 事務所ボランティア感想文 >

日頃から事務所ボランティアが活動の感想として書き溜めていたものです。
今後は少しずつ掲載していきたいと思います。
事務所ボランティアの思いや業務のことなど・・・一読ください。

7月1日(金)

芦田(初台リハビリテーション病院)

少しずつ慣れてはきましたが午前だけだとバタバタとして不完全燃焼です。ボランティアに入る形を少し考え直そうと思いました。対応が不十分のままで帰ります。申し訳ありません。

クッションを起こせばよいのか、わからず仕舞でした。草水さんのメールにあった現地のメールにあった現地の状況にも胸が痛みます。自分にできることは何か、改めて考えたいと思います。

7月2日(土)

熊谷(自宅)

初めての参加で、なんとなく内容を理解できたかな...というところで終わってしまいました。また来週頑張ります。

菅原(平川病院)

初めての参加でしたが、いつもほど忙しくなかったのでしょうか、いろいろ確認させて頂きながら作業させて頂きました。不十分なところも多いと思いますが、よろしく願います。

藤田(横浜労災病院)

マニュアル新しくなってよかったです。現地ボランティアの亀田総合病院さんの7月11日以降のスケジュールについて、中川さんをお願いでよかったのでしょうか。事務所ボランティアが調整するのであれば、これもマニュアルが必要です。ソフトバンクの携帯の有効な使い方があるとよいのですが...

7月4日(月)

長谷川(自宅)

3回目です。前回まではたまたま、ゆっくりと過ごしたのですが、本日は比較的忙しく過ごしました。前日までの日誌や本日の業務を確認することに手間取り、改めて業務全体を把握することの難しさを感じながら、マニュアルに助けられ、どうにか一日を終えることができました。しかし、現地の状況を把握するまでには至らず、またボランティアが不足している状況を感じながらも、どのタイミングでア

7月5日(火)

松永(初台リハビリテーション病院)

午前中だけでは、メールチェックしかできませんでした。やはり1日通してでないとやりきれません。一人だと引き継ぎ事項作成にも時間がかかると思いました。

7月7日(木)

笹川(初台リハビリテーション病院)

電話が来るとその対応に時間がかかってしまい、現地ボランティアの調整が全くできませんでした。こんな中途半端な状況で帰らなければならないことに胸が痛みます...

7月8日(金)

藤村(初台リハビリテーション病院)

午前は前日迄の申し送りとメールチェック、業務の優先順位の振り分けで終わりました。午後から吉成さんが来て下さったのがとても心強かったです。明日もボランティアに入りますが、土曜の上、4人のベテランボランティアの方もいらっしゃるので今週、心残りのままひきあげなければならなかった初台ボランティアの未処理案件を完了させることが出来るのではないかと、胸をなでおろしています。

吉成(長沼クリニック)

初台リハ様、お世話になっております。今後1カ月程ご協力が難しくなります。すみません。

7月9日(土)

藤村(初台リハビリテーション病院)

私は午前で帰りますが、やはり4人居ると業務量が違います。来週も午前1名の日が2日あり、その他の日で業務を補うようになると、現地ボランティアの方への連絡調整が遅れてしまい関係機関の方々にも御迷惑をおかけしてしまうのではないかと危惧しております。

熊谷(自宅)

いろいろ進められる業務があったにも関わらず、自分の段取りが悪く、あまり力にはなれなかったように思い反省しています。次は、すぐにやるべきことを把握して取りくみたいと思います。

菅原(平川病院)

マニュアルに助けられつつ、思わぬパソコンの動きにおどろきつつ、何かと作業をしました。徐々にスピートをあげられるとよいのですが…。日報を見て人数を数えつつ、現地、またこれまでの本部の方々の活動に感謝です。

藤田(横浜労災病院)

先週自分のミスしたことで、理事をはじめ草水さんにも御迷惑をかけてしまいました。お詫びのメールが今日送信になってしまったのも申し訳なかったです。車両証明はきちんともマニュアル化必要!

7月11日(月)

松永(初台リハビリテーション病院)

本日は2人体制で相談や確認をしながら1つ1つ進められましたので、本当に安心してできました。また、1人のときよりも区切りがいいところまで作業が進められ、本当によかったです。

長谷川(自宅)

本日は2人体制で行えたので、分担・確認しながら進められたことは心強く、スムーズに行えました。しかし、引き継ぎの受け渡しの部分での難しさを感じました。相変わらず、現地の把握が今ひとつできずにいます。(問い合わせに対し、自信を持って応えられない)

7月12日(火)

左右田(初台リハビリテーション病院)

今日は2人でゆったりと確認しながら作業を行うことがで

きました。ニュースレターの更新、引き継ぎしながらになりますが時間のあるときに取り組んでいきましょう。宜しくお願いします。

富永(大倉山記念病院)

1か月ぶりのボランティアでした。マニュアルも整備され少ない人数で頑張っていることを実感しました。これからの活動が大切と思い、ボランティアに行けるよう日々の業務を調整していきたいと思います。ひとこと感想を打ち込みしていて、皆さんの熱い気持ちに感動しました。

7月13日(水)

市川(初台リハビリテーション病院)

今日は1人体制での事務所ボランティアでした。出来る事には限界があり、時間の足りなさを感じますが、前日からの申し送りがしっかりされているとスムーズに調整を行えます。申し送りの大切さを改めて感じました。

7月14日(木)

芦田(初台リハビリテーション病院)

今日は、電話もメールもほとんどなく落ち着いて作業できました。時間にゆとりがあったのでボランティア保険の手続きに行きたかったのですが、センターが閉所のため行けませんでした。明日も午前1人なので、週明けの手続きになってしまいますね。今後、1人ボランティアの日が多くなるので、タイムリーに必要な手続きができるのか心配です。

7月15日(金)

取出(初台リハビリテーション病院)

現地ボランティア入りを検討したり、組織的に長期の活動をしようと検討して下さっているSWからのTEL2本受けました。その方たちが聞きたい一番のことは「今現地はどんな様子?人手はどの程度必要?どんな活動をしている?」ということ。たまたま私はいくつかの情報をお伝えできましたが、最新情報を事務所ボランティアがどう把握し、伝えられる体制とするか…。事務所ボランティアの課題です!!明日はカレンダーと高速マニュアル修正に励みます!!

7月16日(土)

菅原(平川病院)

マニュアルの修正にとりくみつつ、自分の失敗をフォローしていただいていることに、申し分ない気持ちになりました。わからないことがまだまだいっぱい、今日の作業もままならずですが、また、お願いします。

7月18日(月)

田玉(初台リハビリテーション病院)

今日の事務所ボランティアは私を含め3名居ましたのでとても心強かったです。まだまだ慣れなくてご迷惑おかけすることもあると思いますが、少しでも力になれるよう頑張ります。

富永(大倉山記念病院)

祝日でしたので、ボランティアに来ることができました。午後は1人でしたが、わりと仕事が多くあつという間でした。県協会で講演を聞き現地ボランティアの申請された方がいたようです。協会としても、会員に向けた報告会を行ってみてもいいのかと思いました。

7月19日(火)

松永(初台リハビリテーション病院)

今日はボランティアセンター閉所(担当職員不在)で加入手続きができませんでした。時間があれば新宿区社協まで行けたのですが...残念です。

7月20日(水)

東(初台リハビリテーション病院)

1人では限界があることをつくづく感じました。現地ボランティアの書類送付がすごくギリギリになってしまっているのも、人数が少ないからかな、と思います。事務所ボランティアの確保は課題ですね。

7月21日(木)

清水(初台リハビリテーション病院)

1人ボランティア2回目でした。これから1人の日が続くと考え、引き継ぎを確実にしてバトンタッチしていかないな~と感じました。

7月22日(金)

長谷川(自宅)

本日は終日1人でした。現地ボランティア新規3名+保険加入手続(外出)とで、いっぱいになってしまい、中途半端に残したまま、去るのが申し訳なく気がかりです。

7月23日(土)

笹川(初台リハビリテーション病院)

初めて3名体制のボラでした!!色々なことを相談しながら調整できるって本当に心強いなと思いました。現地の状況も刻々と変化していると感じました。Up to dateでの状況を把握しやすい体制が必要かなと思いました。(手始めに、藤田さんがクリアポケットを作ってくださいました!)

菅原(平川病院)

来るたびに、前回、自分がしたことのミスをフォローしていただいているのがわかり、申し訳なく感じたり、ヒヤヒヤします。反面、人がかわることで、次に進めたり、つないでいっている様子は楽しみに思います。

藤田(横浜労災病院)

気になっていた車両証明に関して、ひとつアクションが起こせたので、一歩前進です。8月の人の入りが気になります。

7月25日(月)

清水(初台リハビリテーション病院)

今日は1人でも問い合わせは少なく、申し送りを着々とこなすことができました。しかし、他のことに目を向けられないのが難点です。

7月26日(火)

飯塚(順天堂大学浦安病院)

1人でしたが、何とかなりました。8月以降のボランティア確保が心配です。ので、フォローをお願いします。

7月27日(水)

東(初台リハビリテーション病院)

1日入ると、状況が分かってくるな、というのを実感しました。自分の活動の仕方も工夫してみようと思います。

7月28日(木)

左右田(初台リハビリテーション病院)

8月の現地活動の希望のMailが続けて送られて安心しました。事務所の人員確保も課題ですね。今日は高橋さんと2人で話しあいながら動けてよかったです。

高橋(さいたまホームクリニック)

1ヶ月ぶりの参加でした。今後も継続して関わらせて頂きたいと思っています。

7月29日(金)

市川(初台リハビリテーション病院)

今回も1人での活動でした。午前だけの活動に限られ、できる事にも限界があり、申しわけない思いです。

7月30日(土)

菅原(平川病院)

事務も現地も8月の予定が少なく心配になりました。自分も何とか続けていきたいと思います